

2024 第65号

千葉支部だより



J・A・C



令和6年4月発行

発行元（公社）日本山岳会千葉支部
〒285-0837

佐倉市王子台 6-38-4 松田方

発行者 松田 宏也

編集者 小川 和敏

E-Mail cib@jac.or.jp

(表紙の絵)

権現堂桜堤（幸手市）

水彩画 小菅 一弘

「来年は日本山岳会創立 120 周年！」

支部長 松田 宏也

一家団欒のお正月を襲った能登地震。TV がその被害状況を刻々と映し出す。寸断された道路、崩壊した家屋、燃える住宅街、避難する人々、揺れの始まりから捉えたドライブレコーダーの画像。2011 東日本大震災の光景がよみがえる。極寒のなかでの避難所での生活を思うと、なんともやりきれない。自分にいまできることはなにか。少しでも手助けをせねばならぬと想い、とにもかくも義援金に心を込めて能登の人々の安全を祈った。

梅の早咲き、そして河津桜は早くも満開となる。なんだか最近の日本の気候はおかしい。世界もまた同様のようだが……。昨年末の北八ヶ岳登山では雪が少ないのに驚いた。年明けスキーの八ヶ岳、蔵王も例年になく雪不足だった。街は暖かくなった。北風に身体を縮めて手をこすすることもなくなった。そういえば重たい冬物服は着る機会がないままクローゼットに掛かったままだ。2月というのに春の陽気に包まれた。と思ったら次の日は10度も低くなり、寒暖差の激しい日が続いた。それゆえか、今日も山で雪崩遭難の報道がされている。冬は寒く夏は暑く、その間をつなぐ春と秋は身体を慣らすための準備期間であったはず。四季があるから日本には美しいものがあふれている。今までの気候に戻って欲しい。四季を味わえる気候を取り戻したい。地球温暖化を肌身に感じる年明けとなった。

さて、来年は日本山岳会創立 120 周年である。会報「山」2月号の別紙では13を越える記念事業が紹介されている。それらは山の文化を未来に残す、若い人たちに引き継ぐ、そして山と共にいまを生きるための記念事業であり、全国の支部、本部委員会が事業活動に取り組んでいる。多くの会員がこの事業に参加し、また寄付のご支援をいただけるよう切にお願いしたい。これらの事業活動の成功は日本山岳会の歴史と価値を広く世間に知らしめることとなり、会の継続発展に繋がる大きな節目にもなるはずだ。それは同時に千葉支部の発展と仲間との充実したクラブライフにも繋がるだろう。共に120周年の歴史を感じ、日本山岳会をみんなの山岳会として発展させていくのが、全会員の使命ではなからうか。

120周年記念事業に皆さんのご支援、ご協力を何卒よろしくお願い致します。

2023年4月からは全ての会友の期間は2年間とする。（現在入会している会友は2025年3月まで）
会友の期間終了後は会員もしくは準会員を選択してもらおう。なお、70歳以上の会友は特別会友として対象外とする。また、70歳以下でも山岳活動の講習等ができる方も対象外とする。

（年齢は2025年3月末時点とする）

[目次]

・山行記録	p 2
初のマルチ；太刀岡山左稜線	
・房総の山復興プロジェクト	p 3
大日山、元清澄山 登山道整備	松田 宏也
・山行記録	p 4～5
北八ヶ岳・シラビソと黒百合に遊ぶ、登り納めは焼岳をテント泊で、元旦に清和の山を歩く、年始交流会とスイセンそして桜1輪、	
・TOZAN Fes.2024 が無事、成功裡に	p 6～7
TOZAN Fes. 2024 千葉と Base の桜	松田 宏也
「房総の山復興プロジェクト」の努力が結実した TOZAN Fes. 2024 in CHIBA	齋藤 米造
・今年度も登山教室を開催	p 7
・山行記録	p 8～9
三つ峠四十八滝沢でアイスクライミング、厳冬期の北岳へ、原生林を歩き石尊山へ	
・こんにちは	斉藤 和紀
・あの日の山 一台風接近中に平標山へ	宇津木 仁典
・山行記録	p 11
裏磐梯雄国山スノーシュー	
・クライミング教室が始まりました	p 11
・ウォーキングクラブ報告	宇津木 仁典
・支部山行の予定	p 12～13
・事務局からのお知らせ	p 13～15
	p 15～16

初のマルチ；太刀岡山左稜線 上條 誠一郎

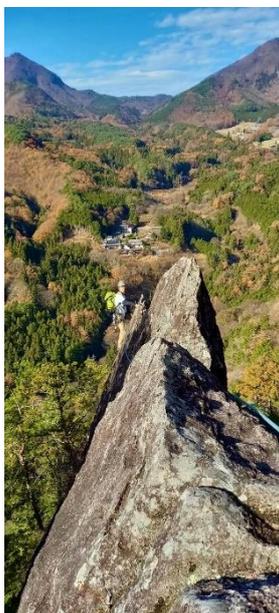


山行日/天候：11月23日（晴）
 参加者：L 平野直子、上條誠一郎（2名）
 タイム：駐車場 8:30→取り付き 8:50→
 鉄岩 14:00→登山口 14:45→駐車場
 14:50

山梨県の昇仙峡の近くにある太刀岡山へ！太刀岡山はフリークライミングのゲレンデとして有名なのだそう。

当日の朝、関東では雨が降ったみたいで岩が濡れてないか心配しつつ西船橋を出発。どうやら山梨は雨が降らなかったらしく岩の心配も消え取り付きに向かった。

太刀岡山左稜線は最初の3ピッチのクラックが核心、クラック初心者の僕はジャミ



ングをきめるのに苦戦してテンションをかけてもらいなんとか突破！

核心の3ピッチを越えると樹林帯を抜け稜線上にでた。そこからは高度感たっぷりのリッジを進み鉄岩に向けて慎重に進む。リッジ上は眺めが良く茅ヶ岳や金ヶ岳が一望できた。何事もなく鉄岩に到着、時間があったので鉄岩のフェイスも登りクライミングは終了。そこから登山道に合流し、20分ほどで駐車場に帰着。

一般にマルチピッチ入門と言われていたこのルートだが初のマルチピッチという事もあり今回はかなり苦戦してしまった。今後、練習を重ねていつかはこのルートをリードで登れるようになりたい。



50歳未満は、千葉支部への入会金と年会費2年間分を免除します！

千葉支部への入会には経験・年齢の制限は設けていません。身近な人で登山経験者や登山を始めてみたい方がいましたらご紹介ください。入会希望者向けの「ガイドンス山行」に参加できます。日本山岳会への入会もご相談に乗ります。

特に若い方が入会しやすいように、50歳未満の新入会員は入会金1,000円と2年間の年会費（正会員1,500円又は会友3,000円）を免除します。

● 房総の山復興プロジェクト ●

房総の山復興プロジェクトの活動が始まり、ここ数年続けている登山道整備。全員が、チェーンソー、手鋸、鋏、スコップ、ロープ、ピンクテープなどを手分けして携えて・・・地元の自治体、成年部などの了承を得て・・・

*房総の山復興プロジェクト＝(千葉県山岳・スポーツクライミング協会、千葉県勤労者山岳連盟、日本山岳会千葉支部)

大日山、元清澄山 登山道整備 松田 宏也

12月9日：大日山

参加者：松田宏也、三田博、齋藤米造、三品京子、南房総市職員1名(5名)

時間：9：00～15：00

12月10日：元清澄山

参加者：松田宏也、三田博、齋藤米造、CMSCAより2名(5名)

時間：9：00～15：00



11/23の鎌倉古道～房州アルプスに続いての登山道整備である。

9日：大日山の駐車場(トイレあり)から増間ダム～坊滝～大日山へ。下山は県道に出る周回コースをとった。

南房総市役所のKさんも含め5名で大日山～御殿山の手前までの倒木の整備をおこなった。

晩秋の好天に恵まれ作業は順調に進み、これで本日は終了だと遊歩道から下山を始めると、想定外の倒木が道を塞いでいた。ありゃま～。山は最後までわからんものです。



BEFORE



AFTER



坊滝の手前で倒木処理



参ったなあ。まだあんの！



ええ天気だな～(大日山の頂上)

10日：本日も気持ちよい天気。CMSCAの2名も加わり計5名で元清澄山の整備にあたった。

金山ダムから元清澄山に向かったが、このルートはすでに倒木処理が終了しておりもっぱら熊手による落ち葉掃き。

階段の急登に汗を流した後も、階段、階段、元清澄山まではタフな道が続く。

アプローチの不便さとアップダウンが続く尾根道だからか、日曜日なのに登山者はおらず静かな山となった。元清澄からの下山では、倒壊した登山道と大木の処理を2019年から行ってきたCMSCAの皆さんの活動の苦勞を間近に見ることができた。よくぞ整備をしたものです。あっぱれの一言。

郷台林道から入山したCMSCAのIさんの車で金山ダムに送ってもらい終了となった。

おつかれさまでした。



元清澄山の下山口にて



北八ヶ岳・しらびそ、黒百合に遊ぶ 松田 宏也

山行日/天候 12月26日～28日 晴
参加者：L松田宏也、三田博、坂上光恵、柳川しげよ (4名)
時間：26日 駐車場13:00→しらびそ小屋15:30
27日 しらびそ小屋8:00→東天狗12:00→黒百合ヒュッテ16:00
28日 黒百合ヒュッテ8:00→駐車場12:00

年末恒例のしらびそ小屋から中山峠経由の東天狗岳。今年のリフォームで暖かくなった黒百合ヒュッテにも泊まることにした。今年の異常気象を示しているのか、10数年このルートに通っているが、これほど雪がないのは初めてだ。

翌日、快晴の東天狗へ。八ヶ岳とは対照的にたっぷりの雪をまとった北アルプスの景色は圧巻。頂上からは天狗の庭経由で直接小屋に出るルートの方から下りるが、これは失敗。岩がごろごろで返って時間がかかった。

熱燗チヂビで夕飯を終えると、なにもやることがない

幸せな時間を味わいながら就寝。

3日目、下山も快晴。林道にでると祠(ほから)の横にカモシカがスッと立っていた。珍しい光景は来年が良い年になるよとのおおげかもしれない。



しらびそ小屋に寄るとお母さんがケーキとコーヒーを準備して待っていてくれた。今日は私の誕生日。おしゃれな誕生日祝い感謝、感謝。

小屋に貼ってある観測データ表では初雪と初氷の日がドカ雪の2014年と同じだ。今は少なくとも近いうちにドカ雪が降るに違いない。皆さん、これからの山は天気予報をよく調べてからですぞ!!

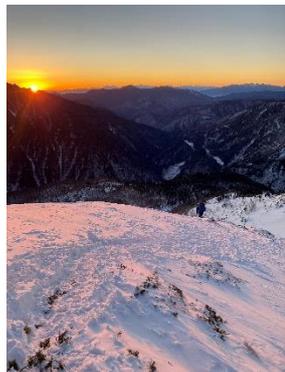
東天狗頂上は快晴微風

登り納めは焼岳をテント泊で 上條 誠一郎

山行日/天候：12月29日～30日(晴)
参加者：L平野直子、上條誠一郎、三田博(3名)
タイム：29日 中の湯温泉11:00→2000m付近14:00
30日 2000m付近5:45→焼岳南峰7:00→テント8:20→中の湯温泉10:30

暖冬の影響かどこも雪が少なく当初の阿弥陀岳南稜の計画から二転三転させ最終的に北アルプスの焼岳へ。

千葉を出発し中の湯の手前にある雪のない沢渡温泉で一度装備の整理。ここでハブニング発生、なんと上條がアイゼンを忘れてきてしまった…テントで1人待機かと絶望しているところなんと奇跡的に三田さん



がアイゼンを2つ持ってきていたのでそれをお借りして命拾いをする。そんなこんなで中の湯に到着し登山開始。初日の行動は短く、難なくテントを張る予定の2000m付近に到着。ちょうど樹林帯をぬけ焼岳を正面に望め、少し離れたところからは前穂や吊り尾根が望める景色のいいテント場でした。明日も早いので天気予報を確認して18時過ぎには就寝。

2日目は4時過ぎに起床し朝食を食べ、ヘッドをつけて出発。順調に標高を上げていき徐々に東の空がオレンジに色づきだし頂上手前でご来光、



朝日を背にラストの登りを登って頂上へ。頂上には他のパーティーがおらず3人で独占!北には雪を纏った槍穂の峰々が朝日を浴びてとても神々しく、南の遠くには富士山も望めた。風が強く寒かったので早々に下山開始。途中、テントを回収し中の湯に到着。

今回は時間に余裕があったので日帰りで見られるところをあえてテント泊にしたけれど、これがとても良かったです。やっぱり雪山で見るご来光は格段に美しさが増すと思います。

最後に今後は忘れ物に気をつけます…三田さん本当にありがとうございました。



元旦に清和の山を歩く

三田 博

山行日/天候 1月1日(月) 晴れ
参加者/L 三田博、三品京子
タイム/清和県民の森駐車場 9:30→9:45 川又大塚山→
10:30 笹郷山→11:55 三郡山→12:50 安房高山→
14:15 駐車場

新年の挨拶もそこそこに、今回はシブい破線ルートの山登り。清和県民の森第1駐車場に車を止め、藪で覆われた道を下り小糸川源流を渡渉。対岸の崖につけられたステップを慎重に上がり、急登を15分ほど登れば川又大塚山(298m)。ところどころの赤テープを追っていくと、富津君津境界尾根に出る。高岩山方面に向かい三角点のある笹郷山(307.7m)へ。笹郷山山頂で小休止して、来た道に戻り三郡山を目指す。このあたり房総でも一番山深いところだ。台



風の倒木もあるが、ちゃんと整備してある。忠実に尾根をたどり三郡山(337m)へ。三郡山から東側へ下り、横尾林道へ出る。林道沿いに50分ほど歩くと梵字の石塔がある安房高山の登山口。標識に従い登り、見晴らし良い場所に出ると鴨川方面に太平洋を望む。暖かい安房高山直下のカヤト原で昼食にする。

安房高山(364.8m)の山頂からはトンネル上の細尾根を歩き、舗装道路へいったん降りる。すぐにトラロープがぶら下がっているので、それを使い山中に入り直す。そこから県民の森内の尾根道をたどり、1時間ほど歩くと県民の森のロッジコース入口に出る。台風の被害後、整備してあるようだが下山口には「立入禁止」の看板が立っていた。今回のコースは誰とも会わない静かな山登りだった。

各支部との交流が盛ん

年始交流会とスイセンそして桜1輪

松田 宏也

1月6日~7日 快晴
参加者: 松田宏也、齋藤米造、小川和敏、
神奈川支部Nさん、埼玉支部Tさん、
山梨支部Kさん、東海支部Oさんとその連れ
(8名)

2024・年明けの宴を房総Baseで開催。今回は神奈川、埼玉、山梨、東海の各支部の個性あふれる会員が集まった。

総勢8名で新年を祝う鍋を囲んでスタートしたが、部屋は熱気でムンムンに加え、温暖化の影響か?本日はストーブいらずの暖冬日となった。見知らぬ会員同士が次第に打ち解けて仲間の輪が広がっていくのは実に楽しい。「ええ~まだ5時なの~」と言っているうちに、あつという間に夜の闇はふけていった。

翌日は、佐久間ダムのスイセン見物散策と「をくずれスイセンロード」のドライブとなった。スイセンは満開。春の香りが一面に漂っている。実に爽快で気持ちがいい。

暖冬のせいか今年は花が早い。日の当たるところの頼朝桜には早くも一輪の花がついていた。

支部交流は楽しい!



満開のスイセン。ええ香り

なんだかうれしいな~。一輪の頼朝桜



●● TOZAN Fes.2024 が無事、成功裡に ●●

2024年2月17日(土)～18日(日)に千葉・鋸南町を主会場に「TOZAN Fes. 2024」が開催されました。主催は公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会(JMSCA)です。主管団体は、私たち千葉支部も昨年度から加盟した千葉県山岳・スポーツクライミング協会(CMSCA)でした。

このイベントは、JMSCAがおこなってきた「全日本登山大会」で今回が59回目になります。千葉が会場になることにより、全国から関係者を迎えることになりました。また多くの一般登山愛好者の参加もあり、千葉支部からも、当日は係を下記Dコースに派遣して大会をサポートしました。



《一般参加登山イベント》

2月17日(土) 受付 浜金谷駅 9:00～9:30

※ 参加費 : 5,000円

登山イベント(バスで各コースに分かれ登山)

9:45～16:00

- ・Aコース 「むかし花嫁が歩いたみち」をたどる(約5時間)
- ・Bコース 鋸山の一等三角点を訪ね「東京湾を望む道」を歩く(約4時間半)
- ・Cコース 清澄山系の中心を歩き日蓮ゆかりの清澄寺へ(約5時間半)
- ・Dコース 梨沢七ツ釜を周回する鎌倉古道、房州アルプスを歩く(約5時間)



鋸南中央公民館での開会式

千葉支部からは4名が房総の山復興プロジェクトで登山道整備をした鎌倉古道～房州アルプスの道案内を担当しました。一般参加者を含め総勢26名での山行となりました。

地元の梨沢地区の方々が事前に登山道清掃をしてくれたおかげで歩きやすい道に様変わりしていました。また、登山開始前には鎌倉古道の歴史を梨沢のSさんに語っていただきました。梨沢地区の方々には感謝、感謝です。

18日の鋸山トレランも大賑わい。約600名が駆抜けていきました。我々は選手の誘導係を担当しましたが、トップ選手は11kmの山道をなんと1時間で走り抜け、それを2周するとは驚きです。人の可能性は素晴らしいものです。

旧金谷小学校を会場に開催されたTOZAN Fes. 2024は大盛況のうちにフィナーレとなりました。実行役員の方々、本当にお疲れさまでした。我々も良い経験になりました。



fes 終了後に房総Baseの頼朝桜(河津桜)の咲き具合が気になり寄ってみると、すでに満開。こりゃ出直して花見をせねばならぬと覚悟を決め、23～24日でBaseの消耗品補充も兼ねて花見としゃれこんだ。

今年も満開桜に会えて良かったなあ～と想いを寄せながら、ちびちびと飲む熱燗ほどうまいものはなし。

やっぱり、春は桜だよなあ～部屋からは滝雲のように桜が流れた。

(松田 宏也)



「房総の山復興プロジェクト」の努力が結実した TOZAN Fes. 2024 in CHIBA

「愛する千葉の山を何とか元に戻したい」CMSCA（千葉県山岳・スポーツクライミング協会）会長岩崎氏が TOZAN Fes. 開会式で語った言葉です。

「足掛け4年、地道に倒木を片付け、崩落したところに道をつけ、ようやく皆さんをお迎えすることが出来ました」これが、TOZAN Fes. を支えるスタッフに共通する思いです。

1日目の登山イベントは110名を超える各県山岳団体と一般参加者が4コースに分かれ、私たちJAC千葉支部4名（松田・三田・今井・齋藤）はDコース（鎌倉古道～房州アルプス）を案内しました。参加者22名は、複雑な地形と難読地名を解説したルート図を読みながら、整備されたあとの倒木帯・崩落帯を抜けていきました。



約4時間、このルートは初めての人が大半で、「怖くて近づけなかった」

「案内してもらってよかった」と皆さんの声。他県の参加者にも、低山とはいえ房総の山の良さを満喫していただけたようでした。

2日目のメインイベントは「鋸山トレイルラン」。520名のランナーが熱いレースを展開しました。



JAC千葉支部の4人はトレランコースの誘導係を担当。ゆるく細い坂道から広い車道に出て直角に曲がる地点で、両手を目一杯広げて車を止め、集団で突進してくるランナーを守ろうと、必死で頑張りました。



ランナーは、荒廃したルートを復旧したボランティアの皆さんに感謝の気持ちを持って走っていたと思います。ゴールインしてから、コースに一礼する姿が印象的でした。

2日間、旧金谷小学校を会場として、「房総の山復興プロジェクト」写真展、ヨシキスポーツさんなど、35社余りの登山用品展示即売会、地元の飲食イベント「おらが市」が同時開催され、大会参加者に一般の人も加え、賑やかでお祭り気分にあふれた、楽しさイッパイのイベントでした。

平野さんは金曜日の準備から三日間貼り付き、式典とトークショーの司会進行MCなどを担当しました。式典の写真の左の赤い服が平野さんです。三品さんはトレイルラン大会役員として、また成田さんもトレランゴールでチップを回収、皆さんお疲れさまでした。

千葉県で初めて開催された TOZAN Fes. 2024 In CHIBA は「房総の山復興プロジェクト」が実を結び、努力が報われた大会でした。（齋藤 米造）

● 今年度も初級登山教室を開催 ●

千葉支部では、昨年度に続き令和6年度に会員・会友向けに初級登山教室を開催します。その内容は昨年度とほぼ同じとなります。役員が講師を務め、下記のカリキュラムと日程で行います。机上講習と実技がセットになっていますが、どちらかだけでも受講できます。また単発で受講することもできます。テキストには、JMSCA（日本山岳・スポーツクライミング協会）の「夏山リーダー」テキストを使用します。この機会にぜひ登山の知識を学んでください。

受講料無料ですが、テキスト代1,000円となります。その他にコピー代等の実費を徴収します。

【登山教室カリキュラムと日程】 ※ 詳細は決まり次第、支部メールにて連絡します。

※ 机上講習の場所は、津田沼のヨシキスポーツ YY ルーム。14:00～16:00です。

- 5月の土曜日 机上 山の装備とマナー / 翌日曜日 実技 高尾周辺 (予定)
- 6月の土曜日 机上 読図と地図アプリ / 翌日曜日 実技 中央線沿線 (予定)
- 7月の土曜日 机上 山の天気 / 翌日曜日 実技 丹沢 (予定)
- 8月は休み
- 9月の土曜日 机上 山の病気とレスキュー / 翌日曜日 実技 奥多摩 (予定)

※ 問合せと申込み先：cib@jac.or.jp 事務局長・三田まで

三つ峠四十八滝沢でアイスクライミング 平野 直子

山行日/天候：2月4日 雪のち曇
参加者：L平野直子、三田博、上條誠一郎（3名）

数日前のヤママップ情報を元に三つ峠の四十八滝沢へ。空き空きの中央道途中から、ちらほら雪が。談合坂PAではしっかり降ってました。とりあえず現地に行ってみると、雪はガンガン降っているのにまあまあ暖かい。一番ダメなパターンじゃん、と言いながらアウター3枚脱いで出発。それでも暑くてチェーンスパイクは団子になりまくり。ノートレースだったので歩きにくかったです。



まずは初滝。左右は薄く氷が付いているけど、真ん中と滝壺は水じゃーじゃー、一目で無理という感じ。みんなが入溪する渡渉ポイントでも真ん中は水じゃーじゃー、おまけに傾斜がない所は雪付きまくり。ふと見るとすぐそばの支流に立派な立った氷が！とりあえずここ行ってみよ、と支度をして登る。先ずは数歩のアイス。5mくらいだけど最初が立ち気味。ウォームアップなので、後続を確保して登りまし

た。そこから30mほどゴーロを詰めて滝の下へ。近くで見ると、つららが固まったようなきれいなシャンデリア状。段々と、プチパーティカルが重なって、初心者には良い練習になりそう。でも裏から水音がして、脆い可能性もあるので多めにスクリューを入れてリード。その上もあるかもしれないのでダブルロープで登ったけど、滝のすぐ上でノーアイス、立木とスクリュー二本でアンカー作成。トップロープでそれぞれ二本づつ登る。そうこう楽しんでいるうちに、11時近くに。既に上に抜ける気持ちは失せて、荷物をその場にデポしてちょっと上の偵察に。本流は



横の傾斜の緩い所はノーアックスで行けるけど、真ん中の楽しいところは結氷していない。最初の大滝も数日前と違って水じゃーじゃー、登れるラインがない。これを見て諦めがつき、懸垂2ピッチで取り付きに戻り、帰りました。

厳冬期の北岳へ 上條 誠一郎

山行日/天候：2月10日～12日（晴）
参加者：L平野直子、上條誠一郎（2名）
タイム：10日 夜叉神峠P 8:20→鷲ノ住山 10:00→あるき沢橋 12:00→池山御池 15:00
11日 池山御池 4:00→ボーコン沢の頭 7:00北岳 10:30→池山御池 14:30
12日 池山御池 5:30→あるき沢橋 7:00→鷲ノ住山 9:00→夜叉神峠P 10:45

2月最初の三連休の天気予報が3日とも晴れだったので前々から登りたかった北岳へ！2/5に関東でも雪を降らした南岸低気圧の積雪に期待と心配を半々に出発。夜叉神峠には何パーティーかいたがどのパーティーも鳳凰三山に向かう様子。仕度をして出発、駐車場からゲートをくぐり一番長い一番目のトンネルを抜けるとなかなかの積雪量、正面に見える白根三山の峰々も雪を纏って真っ白だった。しばらく凍った林道とトンネルを繰り返して鷲ノ住山の取り付きへ、鷲ノ住山の登りはちょっとヤラシイので早速アイゼンをつけて登る。下の林道まで下りまたいくつかのトンネルを抜けてあるき沢橋の登山口に。ここからはひたすら急登を冬のテ泊装備に苦しめられつつ登る。やっとのことで白根御池に到着、なんとか避難小屋内に居場所を確保し1日目は終了。



2日目は2:30起床で4:00に出発。順調に高度を上げていき6:00過ぎに稜線に振り返ると後ろには朝焼けで真っ赤に燃えている富士山が。ボーコン沢の頭を越えると、正面にはバットレスと北岳がすごい迫力で

望めた。風のせいかトレースが所々消えて、八本歯までは先頭を軽いラッセルをしつつ進む。核心部の八本歯の降りでは安全確保のためロープを使い下降した。ロープの出し入れで時間を取られ八本歯以降はラッセルをソロの人にしてもらおう。山頂までの登りも気の抜けない急斜面でアイゼンとピッケルをフル活用で夏道沿いに登り、山頂に到着。山頂からは甲斐駒や仙丈、鳳凰三山はもちろん塩見や白根三山の縦走路、八ヶ岳など山々が一望できた。降りは山頂直下を尾根沿いに降り、あとは往路に沿って降った。丁度ボーコン沢の頭を過ぎたあたりから雲がかかってきて避難小屋に着く頃には雪になっていた。



3日目は1日目の道に戻るだけ。特に夜中に降った雪の影響もなく途中、鷲ノ住山の登りに苦しめられながらも一番乗りで夜叉神峠に到着。3日間とも素晴らしいコンディションの中、無事山行を終えることができましたと思います。凍った林道で3回も転んだとか久しぶりに重い荷物を担いでバテ気味だったとか反省点はあるものの今までの山でNo.1かもしれないくらい良い山でした。



（上條 記）

久々の雪の北岳へ若者と行ってきました。南アルプスは苦勞しないと登れない価値がありますね。仲間と天気に恵まれて、最高の山行になりました。（平野 記）

原生林を歩き石尊山へ

末吉 千穂美

山行日／天候 1月14日 (晴)

参加者：CL 今井貴朗、SL 三品京子、中田彩、羽藤美代子、塩塚生二、黒住清美、成田知彦、末吉千穂美 (8名)

タイム：麻綿原高原妙法生寺駐車場 8：35→石尊山 12：10→妙法生寺 15：35



当日の天気は申し分のない晴天でしたが、前夜がまさかの雪で路面の心配をしつつ集合場所の新茂原駅を車2台で出発。

途中、残雪も見られましたが麻綿原高原の妙法生寺の駐車場に無事到着。スタートのお寺の階段を登り詰めると太平洋が遠くに輝き、眼下の斜面は雪化粧の木々、と美しい光景。

今回のルートは2003年に道迷いでの遭難が大きく報じられたこともあり気が引き締まる。

途中崩壊箇所もありルートを確認しながら進む。先頭を歩く今井さんの背中が頼もしく見えました。

シイ、モミなどの木々が生茂る森は静か。

山頂で昼食を取り元気を取り戻し復路の先頭は成田さん、良いペースで皆を引っ張ってくれました。一度通ってきた道なので少しは安心した気分でしたが、足元には気を付けて歩く。

GPSも確認しながらお寺に到着。ほっとしました。「精霊宿る南関東最後の原生林」と山の看板にありましたが、樹木は力強く、逞しく、エネルギーをもらいました。

千葉の山は独特でとても魅力的でした。面白い山道を歩いて楽しい一日でした。



♪ こんにちは ♪

“こんにちは” 齊藤和紀と申します。入会2年目の71歳、まだ新人です。

昨年の3月までの長い冬ごもり(スキー三昧生活)を終えて、スキー仲間の山岳会会員に、春、夏、秋の暇な時間を有意義に過ごせるように、寂しい老後から解放して新たな人脈づくりを紹介してあげると言われ、ウォーキングに参加したのが千葉支部との最初の出会いでした。

自分の年を考えてウォーキング程度ならと参加、新たな出会いに心ときめかせ、会話を楽しんでいると登山教室への参加を勧められ、当初登山への興味もあまりないまま、1回、2回と参加を繰り返して気がつけば5回参加、ガイドンス山行2回、個人山行3回、と登山に夢中になっている自分がありました。

思い出深い山行を紹介させて頂きますと、2回目の山行で房総・富山 初級コースと言われ参加をするも、伏姫籠穴から登山開始すぐに上級コースとの表示、途中鎖場、ロープワーク有り、下山後ミーティングで本当に初級コースか質問、初級の上との回答、初心者のが納得、今後の山行の基準とする。

次は太郎山山行で噂の女傑3Mさんたちとの出会い、



経験の浅い時期での山行の為自分のペースが分からないまま女傑について登山、オーバーペースで下山途中から膝痛、リュックサックを持ってもらいやっとの思いで下山。3Mさんは下山後駐車場まで2キロ近くをランニング、体力の違いを思い知らされる。今となっては楽しい思い出である。

友人には、ウォーキングが気に入ったら会友になって参加すればいいと言われ昨年4月に会友を申請、気がつけば日本山岳会の正会員に、家族には奇人扱いをされ、肩身の狭い思いをしつつ、これからも新たな出会いと素晴らしい景色を求めて山行を頑張りたいと思いますので、ご一緒させて頂く機会がありましたらご指導のほどよろしくお祈りします。



あ の 日 の 山

— 台風接近中に平標山へ —



宇津木 仁典

生まれも育ちも九十九里平野である。山は畑と同じく低地で樹木の植林地、畑は野菜や麦の耕地であって、登山とは縁がなかったが、山で初めて見た岩石や花々と眺望の美しさに驚嘆し、好きだったゴルフも辞めて余暇日には登山三昧と相成った。

その登山にのめり込むきっかけは、30年程前に日本山岳会前千葉支部長の三木雄三さんから千葉の山に誘われたことに始まる。三木さんとの思い出の山はい

ろあるが、そのひとつは谷川連峰の平標山であろうか。台風17号が千葉県に上陸した際の災害発生予想が頻繁に報道されている最中だったが、構わずにふたりで出かけた。しかし、この山行きが後の大騒動を引き起こすことになる。私の仕事柄、休日であっても災害の発生が予想される場合は自宅待機し、危機が切迫した際には直ちに職務につくという鉄則があったのだが・・・。

山小屋に到着して暫くすると1人の男が訪れ、山小屋主人に「登山届を出したところ新潟県警から台風接近しているので入山禁止されたが隠れて山に来た……」そのうち小屋を打ち付ける風雨の音が激しくなるにつれ、だんだんと千葉県内の災害発生が気になりになってきた。翌日、平標山へ向かうが、登山道は泥道と化していた。スリップしながらもなんとか平標山の頂上に辿り着き、直ちに下山を開始、急ぎ自宅に公衆電話で電話をしたところ、怖い山の神？に大目玉を食らった。「職場の人から電話が途切れなくあって一睡もできなかった！今まで真面目にやってきたのに何しているの！！この台風のなかで……」。そして翌日、職場の



上司からは今回の職務怠慢に対して大声で叱責される羽目となった。

今となっては笑い話の平標山であるが、その後も花と展望を楽しみにひとりで幾度も頂上に立ち、その度に三木さんに電話した。

中高年からスタートした登山では、山々をいっぱい歩き光景を楽しみ、連日の縦走でも疲れを知らず、山紫水明にハマり至極感動する日々が続

いていたが、今までの暴飲暴食がたたったのか、ある日朝食が全く食べられず全身に異変が生じ総合病院へ救急搬送された。気がつけば緊急手術を終えた集中治療室だった。長期間入院して薬事療法と食事療法で治療に専念した。食事療法をしっかりと続けてきたおかげで、3か月毎の検診では医師から「食事療法が完べき過ぎるほどです」と褒められるほどになった。今では支部のウォーキング担当として毎月計画をつくり、メンバーと一緒に汗をながすことを続けている。その甲斐あってか昨年は燕岳や茶臼岳から三斗小屋温泉の山旅を楽しむことができるようになった。また、誰もが「あの宇津木さんが、まさかあ〜」と疑うが、スケッチクラブで水彩に取り組んでいる。自分が絵を描くことに夢中になるとは・・・まさかである。人生はわからぬものである。

80歳を過ぎてもこうして楽しく過ごせるのは、山に誘ってくれた前千葉支部長三木さん、そして登山、ウォーキング、スケッチで「喜びを共有する」仲間たちのお陰であると、しみじみ思うこの頃である。



※ 支部だより64号の「あの日」の記事に訂正が有ります。

津田さんが登ったドルマ峠の標高は、頁左記載の5070mでなく、正しくは右記載の5670mです。

裏磐梯雄国山スノーシュー

三田 芳江

山行日/天候：2月23～24日(曇り・雪)
 参加者：L 三田博、三品京子、宮崎美智代、三田芳江(4名)
 タイム：雄子沢登山口 9:20→分岐看板 10:50→雄国山
 11:30→休憩舎 12:45→雄子沢登山口 14:10

「今年は雪が少ないかもね」と話しながら向かった裏磐梯。初日、移動だけでは勿体ないという事で、猪苗代で喜多方ラーメンを食べた後に「ブルーフォール」を見に小野川不動滝探勝路へ。アイゼンを付け、今シーズン初めての雪道を歩き始める。残念ながらお目当ての滝は勢いよく水が流れていて、滝壺の岩に青い氷の塊が張り付いているだけだった。

宿泊はペンション。川沿いの露天風呂で温まり、まずは夕食前にビールで乾杯。フルコースのボリュームたっぷりのディナーで満腹になり、二次会も早々に切り上げ就寝。翌朝もお洒落な朝食を頂いた後、ペンション村の最奥地から凍結した道路を雄国山登山口まで恐々慎重に移動。人気のコースなのか、駐車場は一杯で最後一台分の道路脇のスペースに駐車。装備を整えて出発。「スノーシューは荷物になっ

てしまうかも」のリーダーの言葉通り、踏みしめられた登山道は楽に歩ける。雄子沢川沿いのなだらかな道を雪景色を楽しみながら暫く行く。山頂に向かう斜面を登り、振り向くと眼下に白く凍った雄国沼が一望できる。風が冷たい山頂で記念写真を撮影。長居は無用と早々に下山開始。雄国沼湖畔の休憩舎で熱々のカップラーメンを食べてホッと一息。「割れない？大丈夫？」凍った雄国沼の上を歩いてみた。そこからは背負ってきたスノーシューを履き、沢沿いの道を何度か徒渉しながらゆっくり登山口に戻った。のんびり楽しい雪山ハイクでした。



● クライミング教室が始まりました ●



支部だより64号にてご案内のクライミング教室の第1回目が座学にて開催されました。
 日時；2月13日(火) 15:00～ 場所；千葉市生涯学習センター

平野講師からクライミングとは「足だけでなく手も使わなければ登れないところを登ること」との説明が有り、引き続きスポーツクライミングとしてのフリークライミングについての講義が有った。「安全のためには道具を使うが、登るためには道具を使わない」のがスポーツクライミングであり、頂上を目指すのではなくその途中を楽しむことをモットーとする。後半には、クライミングのための道具についての説明も。ロープ、カラビナ、スリングなどの種類、使い方などについて。

具体的な使用方法是、次回以降の実践的教室において学ぶことが出来ます。

以下、日程です。

3月28日(木) 印西クラック (インドアジム) 無料
 内容：「ハイキングで使えるロープワーク」
一般登山のリーダーをめざす人にも役に立ちます。

4月21日(日) 外岩講習
 5月19日(日) 外岩講習
 6月22日(土)～23日(日) 小川山合宿





● 浜離宮と旧東海道品川歴史道ウォーキング

N018 2023年12月16日土曜日(晴れ)

参加者 黒住清美、塩塚生二、三木雄三、竹園清孝、梶田義弘、梶田天兵、平出正美、鎌谷繁、長谷川博、國宗文、小林ユキ子、L宇津木仁典 (12名)

ウォーキングスタート JR 横須賀線新橋駅地下改札口前時刻 10:00。ゴール JR 大井町駅前(解散)16:00 であった。歩行距離約 20km 歩行数は 28,000 歩であり、本年最後のウォーキングであったので超頑張りコースになった。

ウォーキングコースの主な立ち寄り地は、浜離宮恩賜公園→東京タワー→昼食→品川泉岳寺→東海道品川宿跡→八つ橋山→品川神社・富士塚→智恵子抄碑→ゼームス坂であった。

12 月中旬なのに秋の気温(22° C)であり、汗を拭きふき歩行して最初の立ち寄り地(浜離宮恩賜公園)に到着した。同公園の中島には水の面に映える橋と御茶屋の姿は、風趣に富んでいた。同公園を一周して品川方面に向かった。品川地区は、神社仏閣が多く特に夏から秋にかけては祭りが多く多彩な行事がある地区とは少々知っていたが……前千葉支部長三木雄三さんの熱心な史跡等のガイドには感心した。少年時代まで品川地域の遊びが脳配線につながり、今は懐かしい故郷の地でもあってウォーキングの先導役になった。如何なることも知り尽くして、質問にも的確丁寧に答えていたのには感心した。

「新たに知るが多かった。品川地区は歴史がある。三木さんに先導役にして再びこの地をウォーキングが楽しみだ……」声が聞こえた。帰宅したところ、TV では、「偉人・敗北からの教訓徳川綱吉と赤穂事件討ち入りは是か非か? 浪士たちの処分」に苦悩」が放映されて、それぞれの浪士墓地を想い観た。



● 川崎大師祈願と横浜中華街周辺ウォーキング

N019 1月28日(日) 曇り

参加者 : 塩塚生二、竹園清孝、鎌谷繁、新井好夫、長谷川博、梶田義弘、中場義則、國宗文、黒住清美、小林ユキ子、高橋啄子、坂上光恵、関係者友人(2人)、L宇津木仁典 (15名)

ウォーキング S(出発)JR 川崎大師駅前 10:30⇒G(解散)JR 関内駅前 6:00。歩数計は、歩行距離 16.3km 歩行数 20,200 歩であった。

JR 大師線川崎大師駅改札口に向かって、乗り換えで JR 品川駅構内を歩行中に突然「ドドーンー……ドッ」道路工事などの振動かな? それにしても大きな金属爆音であった。構内歩行中の人「地震だあー……」叫び声があがった。東京湾を震源とする震度 4 の地震であった。JR 品川駅発後の各電車は、集合駅まで「安全確認」のため速度落して運転であったが集合予定時間に皆は集合した。

今日のウォーキングコースは、川崎大師駅前→川崎大師→川崎大師駅→電車移動→元町・中華街駅→中華街(昼食)→アメリカ公園→外人墓地→港の見える丘→横浜マリニタワー→山下公園や赤レンガ倉庫→関内駅である。

「大本山川崎大師平間寺は、京都東山七条の智積院を総本山とし、成田山新勝寺(千葉県成田市)、高尾山薬王院(東京都八王子市)とともに、真言宗智山派の関東三大本山の寺院のひとつ。厄除大師として有名で新年三が日だけでも 300 万人物人出があるといわれ人気の寺院である。新年最終の日曜日で参道には、相当の人々が厄除け祈願に訪れていた。

次のウォーキング地の横浜では、横浜中華街駅前から朝陽門から中華街通りは両隣の人に触れ合う程で若者と外国人が多い賑わいの街を歩いた。昼食店は予約済であったので待つことなく、皆は「安料金でこの料理ととってもおいしい!!」「予約なしでは昼食は食べられなかったかな?」お喋りを耳にした。

昼食後は中華街から外れたコースで途中立ち寄り地のそれぞれの観光スポットでは、多くの人また幹線道路には車両が多く全国でも有数の指定市の感があった。速足歩行でゴール地(JR 関内駅前)に向かった。神奈川県を訪れた観光客の延人数は、県内市町村別にみると、横浜市が最も多く、次いで箱根町、鎌倉市の順となっているとのこと……

「今日のウォーキングは楽しかった。中華街は初めて訪れて真に外国風の街を観た。皆と親しく話もして良い 1 日であった。またお会いしましょう。」着信メールがあった。



● 深川・清澄庭園と門前仲町ウォーキング

N020 2月18日(日) 晴れ

参加者: 塩塚生二、鎌谷繁、小川和敏、吉野聰、梶田義弘、梶田天兵、坂上光恵、國宗文、新井好夫、黒住清美、小林義亮、長谷川博、竹園清孝、小林ユキ子、L宇津木仁典 (15名)

ウォーキングスタート地は総武線錦糸町駅前9:30、ゴール地は門前仲町駅前(解散16:00)、ウォーキング歩数19,670歩、距離15.1kmであった。

生活習慣の起床時刻9:20にスタート地に到着したところ、参加者14名は既に集合して小生の到着を「待っていた」様子であった。

今日のウォーキングは「芭蕉の遺跡と古刹を訪ね岩崎家3代が築いた石の庭『清澄庭園』に立ち寄りコースは庶民的な門前町であった。主な立ち寄り観光スポットは、猿江恩賜公園⇒のらくろ館⇒芭蕉記念館⇒深川江戸資料館⇒清澄庭園⇒深川不動堂⇒富岡八幡宮であった。

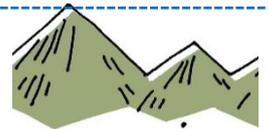
ウォーキング中には、参加者には「この近くの高校を卒業したので在学中の想いの地を歩きたい」ので、ウォーキングに初参加した……。速足ウォーキングが筋力増強になる……。富岡八幡宮と江戸資料館は、昨日TV放映されていた……。等々仲間同士の会話が絶えず、喋りながらのウォーキング。時には速足で追い抜いた若者の後を追走する老齡者?もいた。昼食は「農漁村の郷土料理の百選」では千葉県は太巻き寿司、イワシのゴマ漬けであるが、東京は……。深川井、クサヤであるので、昼食予約店で深川井を美味い美味いと賞味した。



今日のウォーキングは快晴で気温が上がって春陽気、「山々が新緑になったなら歩きたていなあー」と皆に聞こえるよう叫んでいた。

行きたい山の声を募集します!

ここ数年、支部山行の参加者が固定されている傾向があります。出来るだけ幅広い参加者をとの思いから、難度Aの山行を計画するとか、平日の山行を計画するとかいろいろ試行錯誤していますが、なかなかフレッシュな参加者が増えません。「こういった山行をしてほしい」「この山にいつてみたい」とか・・・何でも良いので、千葉支部の事務局までメール連絡を頂ければと思います。可能な範囲でご希望に沿う計画を立案します。 **送信先 ; cib@jac.or.jp**



支部山行の予定

- 山行の心得 - リーダーは、ガイドや添乗員ではありません。
「連れて行ってもらう」ではなく、自主的な意識を持ち参加してください。

リーダーが参加者にそれぞれ役割を振り分けますので、積極的に引き受けてください。参加する前に、山城、コース、交通機関などは地図やガイドブック、ネットなどで十分下調べして下さい。地図・コンパス・筆記用具は、どんな山行でも必ず持って来て下さい。また、山行に見合った登山保険には必ず入って来て下さい。遭難救助付きの保険加入は任意ではなく、すべての登山者の義務です。体調不良者が出れば事故と同じで、山行は中止になり引き返すこととなります。日頃の自主トレーニングも是非行なうようにして下さい。

リーダーの連絡先	
宇津木仁典	紙面版を参照
松田宏也	
三木雄三	
三田博	
三田芳江	
平野直子	
小川和敏	
三品京子	
今井貴朗	
宮崎美智代	

《難度》

- W ウォーキング
 - A 整備され歩行2~3時間
 - B 歩行5時間前後
 - C 歩行7時間前後、一部岩あり体力要
 - D 強い体力、岩技術要
 - E 高い適応能力要、危険度大
- (難度はJAC日本300名山を参考。岩・沢及び積雪期は難度アップとする。)



個人山行も計画書提出を 送信先 ; cib@jac.or.jp

● 山行の申込み

申し込みは、原則として電子メールで行ってください。その際には下記事項の記入をお願いします。
また山岳保険には必ず加入してきてください。

①氏名②生年月日・年齢③住所、自宅電話番号、携帯電話番号④緊急連絡先氏名（続柄）、緊急連絡先電話番号
※年齢は山行日の年齢です。計画書と違うと保険が効かない可能性もあります。

山行は定員を設けています。また、技術・体力不足、初参加で力量不明の場合はお断りすることもあります。
各山行形態に見合った山岳保険に加入していない場合は、当該山行には参加できません。

山行カレンダー（4月～9月）

日程	山名	難度	備考	リーダー	締切
4月6日(土)	房総・富山	A	ガイドンス山行。西尾根コース	三田	締め切り
4月12日(金)	いわき・二ツ箭山	C	アカヤシオ山行	平野	4月2日(火)
4月14日(日)	扇山・百蔵山	B	春の景色を楽しむ	今井	締め切り
4月14日(日)	武甲山	B	駅から登山口までタクシー利用	宮崎	4月1日(月)
4月20日(土)	百蔵山	B	猿橋駅から富士の眺めを求めて	小川	4月10日(水)
4月20日(土)	弘法山	A	《自然学》玉ねぎ石を探す	三木	4月13日(土)
4月21日(日)	クライミング教室		初級クライミング教室・実技	平野	
4月26日(金)～27日	両神山（八丁尾根）	D	鎖場の連続、岩場の好きな人向け	三田	4月17日(水)
4月29日(月)	船橋地区	W	風車回転修復したアンデルセン公園	宇津木	4月22日(月)
5月1日(水)～2日	北茨城の山	A	里川周辺の山と山菜山行	平野	4月22日(月)
5月11日(土)	支部定期総会		千葉市生涯学習センター		
5月17日(金)～19日	熊野古道		《JAC120周年記念》本部集中山行	松田	締め切り
5月19日(日)	鳥ノ胸山	B	富士の姿を望む	今井	5月6日(月)
5月19日(日)	クライミング教室		初級クライミング教室・実技	平野	
5月19日(日)	鎌倉地区	W	鎌倉アルプス	宇津木	5月12日(日)
5月20日(月)	上越・稲包山	B	山菜山行	平野	5月13日(月)
5月24日(金)～25日	高原山	B	日光に前泊、シロヤシオの中を釈迦ヶ岳へ	小川	4月30日(火)
5月25日(土)	全国支部懇談会		神奈川支部主催		締め切り
5月31日(金)～1日	足尾・ヒライデ沢	C	初級の沢登り	三田	5月25日(土)
6月7日(金)～9日	鳥海山・月山	C	東北の日本海を眺める名山へ	今井	5月12日(日)
6月10日(月)	日光・寂光沢	B	素麺山行	平野	6月3日(月)
6月15日(土)	神奈川・大平山	B	相模湾の青色を楽しむ草原の山	今井	5月31日(金)

日本山岳会千葉支部

日程	山名	難度	備考	リーダー	締切
6月16日(日)	都内ウォーク	W	レインボー遊歩道	宇津木	5月9日(木)
6月22日(土)~23日	クライミング教室		初級クライミング教室・実技合宿	平野	
7月6日(土)	栃木・大小山	B	《自然学》プランクトンの山	三木	6月29日(土)
7月6日(土)	笠山・堂平山	B	比企地域の名峰を縦走	小川	6月30日(日)
7月12日(金)~14日	白馬岳	C	大雪溪から登る	今井	5月19日(日)
7月20日(土)	房総・大房岬	A	《ガイドランス山行》	三田	7月13日(土)
7月22日(月)	日光・女峰山	C	キスゲ平から。鳳凰三山に変更もあり	平野	7月15日(月)
8月2日(金)~5日	常念・大天井・燕	C	穂槍を眺める北ア・パノラマコース	今井	5月26日(日)
8月9日(金)~10日	男体山	C	日光に前泊 二荒山神社奥宮へ	小川	7月10日(水)
9月1日(日)~2日	燧ヶ岳	C	前泊 御池から俎嵩、紫安嵩へ	小川	7月30日(火)
9月6日(金)~8日	塩見岳	C	南アルプスのヘソ	今井	7月21日(日)
9月13日(金)~14日	北横岳	B	北横岳から池めぐり、小屋泊(ロープウェイ利用)	三品	8月13日(火)

※ W ; ウォーキングクラブの予定が変更になった場合はメンバーに事前連絡します。
メンバー登録はリーダー宇津木さんにメールしてください。

お知らせ

《事務局から》



● 2024年度支部総会のお知らせ ●

2024年度の通常総会を下記により開催いたします。この総会において 2023年度事業及び決算報告、2024年度事業及び収支予算計画など審議する予定です。

日時 2024年5月11日(土) 午前9:10~
場所 千葉市生涯学習センター 大研修室
〒260-0045 千葉市中央区弁天3丁目7番7号



○総会 9:20~10:20

○記念講演 対談「海と山、奇跡的に生還した二人が語る過去といま」10:30~11:50

・対談者：佐野三治さんと松田宏也支部長、聞き手：山と溪谷社 神長幹雄さん

「佐野三治さん」 1992年グアムへのヨットレースで「たか号」が転覆、27日間の漂流の末に救出される。
著書：たった一人の生還「たか号」漂流27日間の闘い

「松田宏也支部長」 1982年中国ミニヤコンカ峰頂上直下で遭難、行方不明となるも19日後に地元農民に見られる。著書：ミニヤコンカ奇跡の生還、足よ手よ僕はまた登る

●支部年会費の納入お願い

滞納している会員・会友の方が散見されます。支部の運営にとって大切な原資です。是非、納入下さい。
未納者には、支部だよりの配布、並びにメール他での連絡を停止します。

以下がゆうちょ銀行の送金口座です。

記号番号で送金の場合：00270-8-105649

店名で送金の場合：ゆうちょ銀行 029 店 105649

加入者名 日本山岳会千葉支部



●役員会報告

○12月報告 12月20日(水) 支部忘年会のため休会

○1月報告 1月17日(水) リモート(松田、三田、小川、山口、今井)

◇山行・行事報告 11/23 鎌倉古道と房州アルプス周回、12/9～10 登山道整備・忘年会、12/16 都内ウォーク、12/26～28 北八ヶ岳、1/1 三郡山・安房高山、1/6・7 支部交流会、1/14 石尊山、12/29～30 焼岳

◇山行・行事予定 ゲレンデスキー、川崎大師 W、机上クライミング教室、江東 W、晴香園、裏磐梯スノーシュー

◇報告・検討事項 登山教室、TozanFes、来年度事業計画、来年度役員、入退会者報告

○2月報告 2月21日(水) リモート(松田、三田、三品、上村、三田芳)

◇山行・行事報告 2/17～18 TozanFes、1/28 川崎大師と中華街 W、2/13 クライミング教室 机上、2/18 江東ウォーク、2/4 三つ峠アイスクライミング、2/10～12 北岳2名

◇山行・行事予定 裏磐梯スノーシュー、3/2～3 頼朝桜観桜会、3/9～10 雪山講習会、柏木山、浜石岳、椿丸、柏市内ウォーク、古賀志山、クライミング講習、支部連絡会議、筑波山

◇報告・検討事項 新年度役員・協力委員推薦、登山道整備、全国支部懇、本部・初級登山教室、事業計画、入退会者報告

●会員・会友の動向

《入会・会友》

YNさん(会友に再入会)

SYさん 松戸市

NNさん 船橋市

《退会》

TKさん(14387)、SIさん(12196)



編集後記；冬の屋久島に行ってきました。いつも行く登山口への道路が崩壊していて手前1kmで通行止め。15分ほど歩いてから登山道へ。生憎とガスが酷く途中で撤退しました。翌日は違う山へ。こちらは雪も少なく快適な山行でした。徐々に屋久島の各ルートが荒れてきているようで寂しい。そう言えば、たまたま種子島のロケット打上げに遭遇して、それなりの軽い感動を覚えました。隠岐の島など、75歳からは島旅などをゆっくりと楽しみたいと思う今日この頃です。

津田沼のヨシキスポーツさんにはSAC教室会場の提供ほか、千葉支部として大変お世話になっています。山用品を購入するときは是非ご利用して頂きたいと思います。会員になると割引があります。(小川和敏)